



アグリ筑西

2021 3月号

日中の日差しが暖かい日が増えてきましたが、まだ夜は寒い日が続きます。体調管理には十分、気を付けましょう。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! →

JA北つくば花き部会が現地講習会を開催しました

2月17・18日に、JA北つくば花き部会が明野・下館・岩瀬の支部ごとにコギクの現地講習会を開催しました。

今回の講習会は、部会員、全農担当者、JA担当者、普及センターが集まり、親株からの病害虫対策の徹底を目的に実施しました。

まず、普及センターから親株管理・育苗期の白さび病等防除等について説明しました。その後、現地ほ場の生産者から親株管理状況やキクわい化病対策のための親株更新について報告を受け、意見交



講習会の様子

換を行いました。一方、参加した生産者からは本圃でのコガネムシ発生対策などの栽培管理上の悩みについての質問があり、同じ経験がある生産者が回答するなど、現場に即した有意義な講習会になりました。

JA北つくば花き部会では、主要品目のコギク以外にも露地や施設で1年を通して様々な時期に出荷でき色々な品目を出荷しています。出荷がない時期などの花き栽培の導入をご検討されている方は、普及センターにご相談ください。

農業学園「普通作講座」を開催しました

1月21日、令和2年度農業学園第7回講座「普通作ドローン実演講座」を開催しました。当講座は青年農業士の普通作研修と合同で開催し、青年農業士6名と、農業学園生7名が参加しました。

講座は筑西市のほ場で行い、青年農業士3名から、ドローンの機種選択のポイントや、ドローンの導入により葉散作業の負担が軽減したことなどを説明いただきました。また、実際にドローンを飛行させながら、操作方法についての実演も行いました。

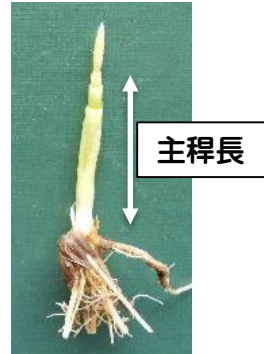


講座の様子

学園生からは青年農業士の方へ機種による違いなどについて多くの質問が出され、ドローンを導入するための参考になったとの感想が聞かれました。また少し先輩の農業者である青年農業士と交流する機会ともなりました。

ムギの多収化を目指した茎立ち期追肥の判断

茎立ち期とは、小麦・大麦ともに主稈長が2cmとなり節間伸長が始まってくる頃で、まさに茎が立ってくる時期のことをいいます(写真)。この時期に追肥を行うと、穂数や一穂粒数を増やす効果があり、増収を目指すことができます。窒素施用量の目安は2~4kg/10aです。



【参考】表 小麦「さとのそら」の茎立ち期予測 (R03年2月9日現在)

播種期	11/1	11/11	11/21	12/1	12/11	12/21	12/31
茎立ち期予測	3/5	3/14	3/22	3/26	3/30	4/1	4/4

注) 茎立ち期は下館アメダスの平均気温(実測値および平年値)より予測しています。

写真 ムギの主稈長

但し、今年のムギは、11月20日頃を境に播種の早いものと遅いもので、生育に大きな差が見られており、11月上旬に播種したほ場では生育が過剰なものもあります。このようなほ場や、土壌からの供給窒素量の多い火山灰土(黒ボク土)では、稈長が伸び過ぎて倒伏を助長する可能性もあるので、追肥は控えてください。

「肥沃な土壌とは(CECと塩基飽和度)」

近年管内の水稲や施設園芸のほ場では、CECが低下し、減収の一つの要因になっています。これには、一発型肥料や化成肥料の普及による、土壌への有機物施用の減少が大きく影響しています。

前述したCEC(Cation Exchange Capacity)とは「陽イオン交換容量」を指し、これは土の保肥力を表す数値です。この数値が低いとマグネシウムやカリウム、カルシウム等塩基類を土壌が保持できず、せっかく施肥した肥料も流亡してしまいます。

つまり、植物の生長に必要な塩基類を土が保持するには、CECの数値を高く維持する必要があります。そのためには、豚ふんや牛ふん、食品残渣等の有機物の施用が効果的です。

以上のことを踏まえ、CECのことを念頭に栽培してみてください。

かんしょ防除暦と栽培資料を作成しました

管内でかんしょ生産者が増加していることから、かんしょの病虫害雑草防除暦を作成しました。防除暦には、害虫対策、病害対策、雑草対策に加えて、かんしょの病虫害についてまとめた参考資料を付けました。また、栽培資料は「育苗まで」と「ほ場準備～貯蔵」に分けて作成しました。

ご希望の方は普及センターまでご連絡ください。

かんしょ病害虫防除暦(目安期)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
アザミムシ類												
ハダニ類												
アザミムシ類												
アザミムシ類												
アザミムシ類												

<普及センター連絡先>
TEL:0296-24-9206

←かんしょ防除暦一部抜粋

普及員のひとりごと～柳田喜史～

12月から県西農林事務所経営・普及部門に配属となりました。出身は、筑西市(旧協和町)です。大学では植物病理学研究室に所属し、トマト青枯病について研究していました。地域の農業がより発展できるよう、微力ながらお力になれたらと思います。よろしくお願いします。